

第6回（2019年第1回） 東京医科大学病院 監査委員会議事要旨

- 1 日時：令和元年6月18日（火）午後6時30～8時45分
- 2 場所：東京医科大学病院 本館6階 特別会議室
- 3 出席者：【委員】落合 委員長、安原 委員、桑原 委員
【病院側】三木 病院長、菅野 医療安全管理責任者、
内野 医療機器安全管理責任者、前 医薬品安全管理責任者、
三島 医療安全管理室長、竹山 臨床研究支援センター長
高橋 医療安全管理室講師、梶 医療安全管理者、
服部 臨床工学部技士長、犬伏 薬剤部主査、
川村 臨床研究支援センター主任、藤澤 事務部部长、
龍崎 総務課課長

4 議題：

- (1) 三木 病院長の挨拶
- (2) 新委員の挨拶
- (3) 委員長互選
- (4) 報告事項および監査について
 - ①2018年度 医療安全管理報告
 - ②2018年度 医薬品安全管理報告
 - ③2018年度 医療機器安全管理報告
 - ④患者相談窓口について
 - ⑤高難度新規医療技術導入制度について

5 監査項目：

- ①菅野 医療安全管理責任者より医療安全管理体制として、2018年度のインシデント報告、院内病因死因検討会検討事例、医療事故調査制度検討事例、医療法施行規則第1条の11第1項第3号に基づく院内医療安全研修会、医療安全週間（患者誤認防止活動）と医療安全文化の確立（異業種安全文化講演会）についての報告。
- ②前 医薬品安全管理責任者より 2018年度の医薬品安全管理責任者の業務として、医薬品の安全使用のための情報収集（処方箋疑義照会と副作用報告）と改善方策の実施と従業員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施（アナフィラキシー発症時の対応と患者確認の重要性）の報告。

- ③内野 医療機器安全管理責任者より医療機器安全管理責任者の責務についての報告。服部 臨床工学部技士長より 2018 度の医療機器の安全使用のための研修、保守点検に関する計画と実施状況、機器の安全情報の収集と周知、不具合等に対する改善のための方策、安全面に配慮した医療機器の採用状況、誤作動、故障などの現状と対応、保守点検業務と安全管理における臨床工学技士業務の報告。
- ④山本 総合相談・支援センター長より患者相談窓口について、患者さんからのご意見・ご提案を受け付けるご意見箱、調査役の面談・電話相談の 2018 年度対応件数と患者さんからの感謝のことばの報告。藤平 総合相談・支援センター副センター長より患者さんからの医療安全に関する相談の実例と対応の報告。
- ⑤竹山 臨床研究支援センター長より高難度新規医療技術導入制度について、法や規制から見た審査体制と委員会事務局・窓口、本学における倫理関連の各種委員会と事務局、当院における高難度新規医療技術と未承認新規医薬品等の評価委員会の審査状況、実施中の定期報告と先端医療管理部門の長の確認、死亡例の発生時の対応と研究の管理の報告。

6 監査結果：

- 1 インシデント報告について、件数は十分に提出されており、報告に対する分析や対応もきちんとして行われています。今後はさらに、1つの事例に対していろいろな職種から報告が上がるような組織を築いていただきたい。
- 2 全体的に丁寧な患者対応をされていることが分かりました。今の時代は、患者個々に適した医療を提供することが求められているので、同じように患者個々に適した説明も求められています。医療技術と同じくらい、患者への説明技術が重要なので、特に若い医療者に対して研修する場などを検討していただきたい。
- 3 今回の監査の全体を通じて、是正措置を要する指摘はありません。

7 委員長より総評：

全体を通して、非常に熱心に医療安全に取り組んでいることが分かりました。特に、現在の医療の根幹を成す医療安全を病院長が十分理解し、病院を引っ張っていかれているというのは、特定機能病院の本来望むべき姿だと思います。今後も引き続き、患者さんの期待に応えられる病院を目指していただきたいと思います。

8 配付資料：

- (1) 監査委員会委員名簿
- (2) 2018年度 医療安全管理報告
- (3) 2018年度 医薬品安全管理報告
- (4) 2018年度 医療機器安全管理報告
- (5) 患者相談窓口について
- (6) 高難度新規医療・未承認新規医薬品等の医療を提供する際のプロセスと体制

記録者：総務課 鈴木

2019年6月18日

委員長

沼合 和徳

署名委員

安原 幸彦

署名委員

桑原 公平